

# かわだや かわら版

1つ挨拶



かわら版愛読者の皆様、こんにちは。代表の河田です。

梅雨も明け、いよいよ夏本番になりました。今年の梅雨明けは例年よりも早かったので長い夏になりそうですね。無理をして熱中症にならないように十分注意して、子供たちのように元氣を出して厳しい夏を乗り切りましょう。

さて、夏といえは空一面に青い空が広がっていますが、東京の下町のある所に、空を見上げるとまっすぐにそびえ立つスカイツリーがいよいよ完成に近づいてきました。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、そのスカイツリーに使われているボルトは、”絶対に緩まないネジ”が使われています。絶対なんて本当にあるのか?と思います。絶対緩まないそうです。凄いですよね。

かわだやも、「あそこ  
に頼めば絶対大丈夫!」  
と言っていただけるよう  
にこれからも頑張ってい  
きます。



## 【今月の1冊】



今月は「オヤジの教科書～仕事と家族に胸を張りたい男たちへ～」という本をご紹介します。

この本はオヤジ歴数年から五十数年までの色々な職種の28人の男が”何のために働くのか?”、“何故頑張り続けるのか?”今まで何も語らずただ背中を見せて働いてきたオヤジたちに本音を聞いて集めた本で、家族を守る為に頑張り続ける人、夢を追い続け頑張り続ける人、父親に追い付き追い越すことを目標に頑張り続ける人、皆それぞれの思いを胸に頑張り続けている様子が描かれていました。

この本のプロローグにこんなことが書かれていました。

「働いて初めて、金を稼ぐ大変さを知った・家族を持って初めて、守ることの難しさを知った。」と。

私たちの仕事は主に、皆さんの大切な家などを塗装することが多いですが、それらは全てお客様が一生懸命働いて得た大切なお金をいただいてやらせていただいています。数万円、数十万円、時には数百万円という工事を承るのですが、それらは皆さんが一生懸命働き、稼いだ中からいただくわけですから”一円たりとも無駄にできない、後悔させることはできない”と常に思いながら取り組んでいかなければならないと思います。

さて、この本に登場するオヤジたちの殆どが家族を持っている男たちなのですが、この本のオヤジとは、子供がいる男のことだけではなく、お父さんと呼ばれている男のことだけでもなく、「守るべき人に自分の生きる姿を見せられる男が、オヤジだ。」とも書いてありました。

私たちのような職人の世界では昔から親方のことをオヤジと呼び、親方の奥さんをおかみさんと呼んだりしています。親方にしてみれば職人たちは守るべき人であり、その家族たちも守るべき人達であると思います。

私も結婚と同時期に独立し、守るべき人ができ、子供たちも授かり、従業員が増え従業員にも家族ができ、と、年々オヤジと呼ばれる為のハードルが上がっていきます。家族、従業員、お客様を含め、お世話になっている全ての方たちに少しでも幸せを・喜びを感じてもらうことが私の頑張り続ける理由かなと、思いました。

私は平成のオヤジたちになりますが、昭和のオヤジたちに負けない様これからも頑張っていきます。

平成23年 7月  
第10号  
（旬）かわだや 発行



ペンネーム よしろー